

2024年4月19日

各位

三井住友信託銀行株式会社

森林ファンドへの出資について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、米国を含めたグローバルな地域を投資対象とする森林ファンド(Manulife Forest Climate Fund、以下「MFCF」)への出資契約を締結しましたのでお知らせします。

MFCF は、森林投資業界で最大規模の運用資産を誇る専門のファンドマネージャーである Manulife Investment Management Timberland and Agriculture Inc.(以下「MIMTA」)によって運用されています。MIMTA は、米国を中心に、豪州や南米などの森林アセットの成熟市場を対象に森林ファンドの管理・運営に携わる長い歴史と豊富な知見を生かし、グローバルに分散された投資を行います。また、本ファンドは、主にカーボンクレジットの創出を目的とした投資を行う点が特徴であり、投資家は創出されたカーボンクレジットをリターンとして受け取ることも可能です。FSC(※1)基準に基づく森林管理とともに、創出されたカーボンクレジットについては、ACR(※2)、VCS(※3)などの国際的な認証機関から認証を取得する予定です。

当社は、MFCF へのファンド投資を通じて森林管理の高度化、およびカーボンクレジットに関する知見を獲得することで、当社のお客さまが抱えるネットゼロに向けた課題に対してソリューションを提供し、良質なカーボンクレジットを安定的かつ継続的に供給する仕組みの構築に取り組んでいきます。

本年 2024 年に創業 100 年を迎えた三井住友トラスト・グループは、「託された未来をひらく」存在として、社会課題の解決に貢献するインパクトエクイティ投資や、投資家への魅力的な投資機会の提供を推進しています。また、当グループは、脱炭素化に向けた商品・サービスの開発および提供、資金・資産・資本の好循環を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

(※1)FSC : Forest Stewardship Council(森林管理協議会)は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的に設立され、同協議会の基準を満たした森林や森林事業者には国際的な認証が与えられる。

(※2)ACR : American Carbon Registry(持続可能な林業イニシアティブ)は、米国の NPO 法人 Winrock International が 1996 年に設立した世界初の民間クレジット認証。

(※3)VCS : Verified Carbon Standard は、米国の NPO 法人(Verra)が気候変動対策目標達成に関する基準を開発・管理する認証として、ボランタリークレジット市場内、最大のシェアを誇る。

以上